

■平成26年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1. 概況

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

主な建設改良事業については、七隈線延伸事業において、早期開業を目指し、土木本体工事等を着実に推進し、あわせて、事業の進捗等に関する情報を積極的に発信しています。

また、営業線改良事業については、安全・安心の向上のため、ATC（自動列車制御装置）等の列車制御装置やトンネル・高架橋等の土木構造物の改良を進めるとともに、行先表示や乗換情報の充実をはじめとした情報発信の強化を図るため、列車案内システム等の改良や運行情報提供システムの構築に取り組んでいます。また、ユニバーサルデザインに配慮した地下鉄施設の整備推進を図るため、引き続き駅トイレの改良等に取り組んでいます。

増客増収の取組みについては、地下鉄全線乗り放題定期乗車券「ちかパス」や、お得な環境1日乗車券「エコちかきっぷ」等の企画乗車券の販売促進に加え、1日乗車券特典施設の拡充及びICカード「はやかけん」電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上、民間タイアップによる利用促進キャンペーン、イベント等主催者と連携した臨時列車のきめ細やかな運行など、乗客誘致活動を積極的に推進しています。また、広告の販売促進に取り組むとともに、藤崎駅、西新駅、天神駅に新たに店舗を設置するなど資産の有効活用を図っています。

利用者数は、年間乗車人員148,202,727人（1日平均406,035人）で、平成25年度と比較しますと5,050,277人（3.5パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が70,169,070人（1日平均192,244人）で、平成25年度と比較しますと2,903,475人（4.3パーセント）増加しており、定期外の利用者が78,033,657人（1日平均213,791人）で、平成25年度と比較しますと2,146,802人（2.8パーセント）増加しています。

このため平成26年度の乗車料収入（消費税抜き）は247億4,302万円で、平成25年度と比較しますと、9億6,229万円（4.0パーセント）の増となっています。

経営状況については、総収益325億4,870万円に対し、総費用は389億3,814万円で、差引63億8,944万円の純損失が生じました。

これは、公営企業会計制度の見直しなどにより特別損失を82億6,313万円計上したことによるもので、経常収支では18億7,369万円の利益が生じています。

その結果、平成26年度末における累積欠損金は1,424億8,783万円となっています。

今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めます。

2. 収益の収支及び資本的収支

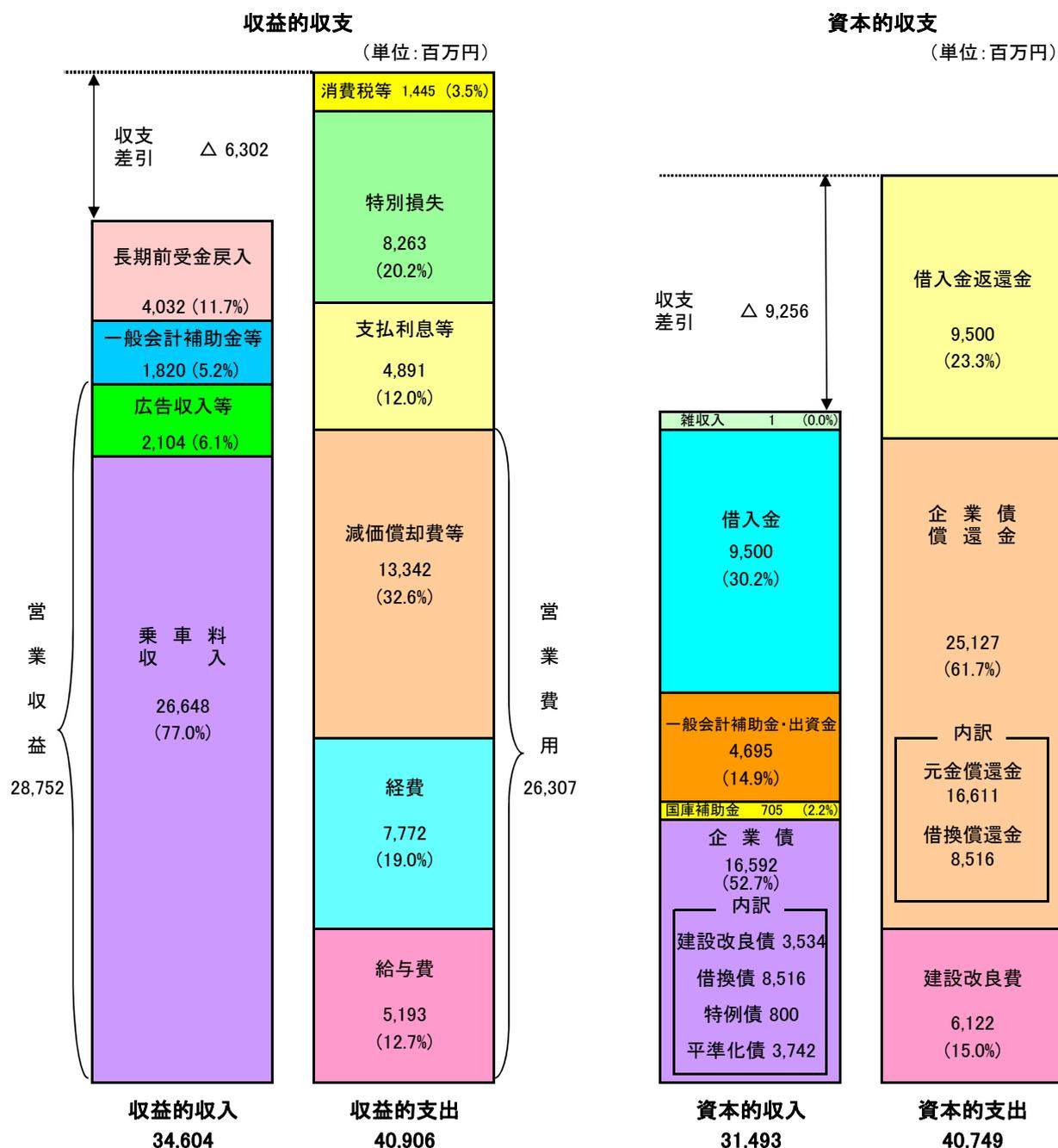
収益の収支	金額
収入	34,604 百万円
支出	40,906 百万円
差引	△ 6,302 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	△ 6,389 百万円

平成25年度末累積損益 △ 137,707百万円
 平成26年度損益 △ 6,389百万円
 会計制度見直しに伴う調整額 1,608百万円
 平成26年度末累積損益 △ 142,488百万円

資本的収支	金額
収入	31,493 百万円
支出	40,749 百万円
差引	△ 9,256 百万円

※ 損益勘定留保資金等で補てん

平成26年度末累積資金過不足額 △ 26,152 百万円



3. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,659,019.8 キロメートル

(4) 年間輸送人員 148,202,727人

(5) 一日平均輸送人員 406,035人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	349,507 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	74,888 人
乗継ぎ分(c)	18,360 人
全線計(a)+(b)-(c)	406,035 人

4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	2,331,468 千円
営業線改良事業	事業費	3,786,873 千円

5. 重要施策

区 分	事 業 概 要
<p>① 七隈線延伸事業</p> <p style="text-align: right;">2,331,468千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 事業期間 H24～H32 H25 1,983,976千円 </div>	<p>早期開業を目指し、着実に土木本体工事等を推進するとともに、電気や建築、設備に関する実施設計等を進めた。あわせて、事業の進捗等に関する情報を積極的に発信した。</p> <p>(全体の事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇延伸区間 天神南～博多 ◇建設キロ 約1.4km(営業キロ約1.6km) ◇建設費 約450億円 ◇利用人数 延伸区間で約6.8万人/日 (このうち新規利用者数…純増約2.1万人/日) ◇開業予定 平成32年度 <p>(平成26年度の主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多駅(仮称)工区建設工事 ・中間駅(仮称)西工区建設工事 ・中間駅(仮称)東工区建設工事 ・住吉6号幹線移設工事 ・建築・電気・設備関係実施設計 等
<p>② 安全・安心の向上</p>	
<p>(ア)ATC等改良工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 事業期間 H18～ H25 525,565千円 </div> <p style="text-align: right;">225,346千円</p>	<p>経年劣化したATC(自動列車制御装置)等の列車制御装置を年次計画により改良した。 (姪浜駅、1000N系・2000系車両)</p>
<p>(イ)土木構造物等改良工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 事業期間 H15～ H25 50,831千円 </div> <p style="text-align: right;">208,711千円</p>	<p>土木構造物(トンネル等)の改良工事を拡充し、安全性の向上を図った。</p>
<p>(ウ)安全を支える人材の育成</p> <p style="text-align: right;">26,904千円</p>	<p>運転教育設備の改修・新設に加え、安全を支える専門的知識を有する職員を育成するための方針の策定や、研修の拡充とともに、技術の継承の推進に取り組んだ。</p>

区 分	事 業 概 要
③ 情報発信の強化	
(ア) 列車案内システム等改良工事 事業期間 H24～H26 H25 644,814千円 863,241千円	駅ホーム及び改札口の列車案内システムについて、行先表示や乗換情報を充実させるとともに、経年劣化した運転システムの改良を実施した。 (空港線、箱崎線)
(イ) 運行情報提供システム構築工事 109,199千円	列車の運行情報等を駅のモニターやスマートフォン等にリアルタイムで提供する、運行情報提供システムを整備した。 (空港線、箱崎線、七隈線)
(ウ) 地下鉄ホームページのリニューアル 4,996千円	ホームページによる広報を効果的に行うため、トップページをリニューアルするとともに、掲載内容やスマートフォン画面の充実を図った。
④ ユニバーサルデザインに配慮した整備推進	
(ア) 駅トイレ改良工事 事業期間 H18～ H25 1,785千円 51,157千円	駅トイレの段差解消やオストメイト対応等の改良を年次計画により実施した。 (博多駅筑紫口)
(イ) 駅階段の段差明瞭化改良工事 事業期間 H25～ H25 20,355千円 4,966千円	年次計画により、駅階段の段差部分の視認性向上を図り、滑りにくいものに改良した。 (唐人町駅)
(ウ) 車内優先席拡大 6,334千円	全車両において車内優先席の拡大を実施した。 (空港線、箱崎線、七隈線)
⑤ 駅施設の省エネルギー化	
駅照明等のLED化改良工事 事業期間 H24～ H25 86,311千円 26,707千円	ホーム、コンコース等の照明や誘導灯のLED化を推進した。 (駅照明…室見駅、博多駅の一部) (誘導灯…千代県庁口駅、馬出九大病院前駅)